

令和 8 年 4 月 23 日

**文部科学省「令和 7 年度大学等における
学生のキャリア形成支援活動表彰」において、
本学情報科学部の「長期フィールドワーク」の取り組みが
「優秀賞」を受賞**

2026 年 3 月 30 日、文部科学省「令和 7 年度大学等における学生のキャリア形成支援活動表彰」において、本学情報科学部の「長期フィールドワークⅠ」および「長期フィールドワークⅡ」の取り組みが「優秀賞」を受賞しました。

本表彰は、学生の能力伸長に寄与するなど高い教育的効果を発揮し、他の大学等や企業に普及するにふさわしいモデルとなり得るキャリア形成支援活動をグッドプラクティスとして表彰し、その成果を広く普及することを目的として実施されるものです。

全国の大学から 46 件の応募があり、「優秀賞」には本学の取り組みを含む 3 件が選定されました。

本取り組みは、基礎科目から演習、長期フィールドワークへと段階的に学修を積み上げる体系を、卒業論文に代わる必修科目として正規課程に位置付けています。また、3・4 年次に 4 か月間の就業体験を配置し、高度 DX 人材の育成を見据え、実際の企業課題に長期間関わることができる教育設計となっており、大学での学修と企業現場での実践を往還させる仕組みを構築しています。

2025 年度は、18 人の学生が計 11 社の企業（マツダ株式会社、マイクロンメモリジャパンほか）で実習を行いました。学生は長期就業体験を通じて職業観・キャリア意識が向上し、卒業後の進路選択に具体的な展望を持つことができるようになり、企業にとっても、学生の新しい視点や技術が組織に刺激を与え、若手育成や採用戦略に好影響をもたらしています。

さらに、派遣前後のスキル測定やアンケートによる定量的評価に加え、卒業後の進路まで追跡する長期的な調査を実施し、得られた結果を教育改善へ反映する PDCA サイクルが機能しています。短期的な成果だけでなく、キャリア形成上の効果を継続的に把握する仕組みが整備されており、実習の教育的意義を多角的に検証する体制が構築されている点が高く評価されました。

■ 文部科学省 大学等における学生のキャリア形成支援活動表彰
https://www.mext.go.jp/b_menu/internship/1408338.htm

■ 広島大学情報科学部 コーオペ教育プログラム
<https://coop.hiroshima-u.ac.jp/>

※別紙参考資料あり

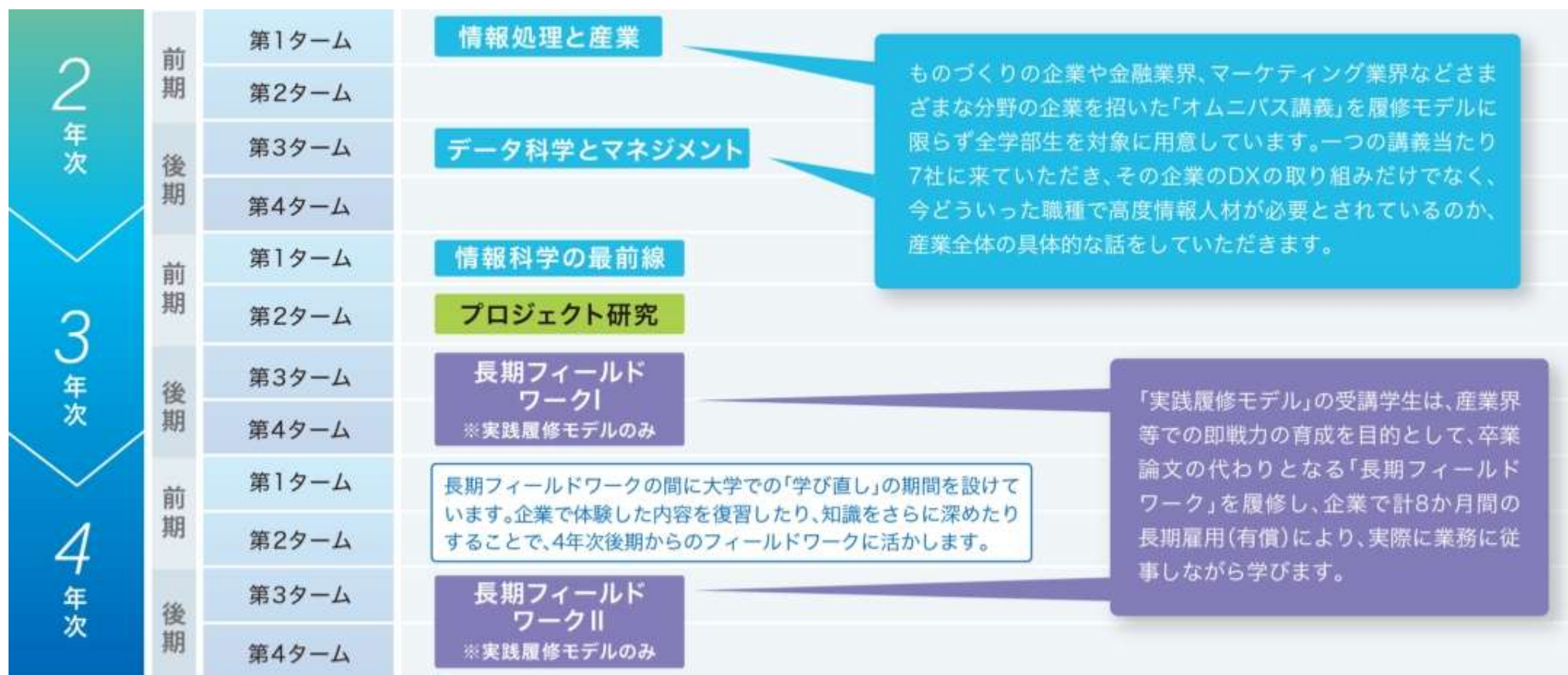
【お問い合わせ先】

教育室教育部キャリア支援グループ
副グループリーダー 長谷川 裕子

TEL:082-424-6986

E-mail : career-fuku@office.hiroshima-u.ac.jp

別紙：広島大学情報科学部コーオプ教育プログラム 実践・実務科目の流れ



令和7年度大学等における学生のキャリア形成支援活動表彰の概要について

目的 学生の能力伸長に寄与するなどの高い教育的効果を発揮しており、他の大学等や企業等に普及するのに相応しいモデルとなり得る、産学協働による学生のキャリア形成支援活動を、グッドプラクティスとして表彰し、その成果を広く普及する。

公募期間：令和7年11月4日～12月19日

申請対象：令和6年度又は令和7年度に大学・短期大学・高等専門学校において実施された学生のキャリア形成支援に係る取組のうち下記の選考基準を満たすもの

申請件数：46件（大学：42件、短期大学：4件）

表彰：【最優秀賞】金沢工業大学
 【優秀賞】豊田工業大学、日本大学、広島大学
 【選考委員会特別賞】筑波大学

大学等における学生のキャリア形成支援活動表彰選考 基準・項目

- | | |
|----------------------------|-------------------------------------|
| ① 就業体験を伴うこと | ④ 実施後の教育的効果を把握する仕組みが取られていること |
| ② 正規の教育課程の中に位置付けられていること | ⑤ 5日間以上のキャリア形成支援活動の就業体験期間が確保されていること |
| ③ 大学等の組織的な取組として位置づけられていること | ⑥ 大学等と企業等が協働した取組となっていること |

受賞校一覧

大学等名	科目名	取組概要
金沢工業大学 最優秀賞	コーオププログラム コーオプ実習	企業と共同でカリキュラムを設計し、学生は4か月程度の長期就業を通じて専門知識を社会で活用。給与支給により責任ある業務を担い、実践力を養うプログラムを実施。 ・対象：コーオププログラム 全専攻修士1、2年生・大学院進学予定の全学部4年生 選択科目 コーオプ実習 全学部1～4年生 選択科目 ・参加学生：コーオププログラム12名、コーオプ実習13名 ・事前・事後学習を除いた企業等での就業体験日数：コーオププログラム 4か月程度 コーオプ実習 1～2か月程度
豊田工業大学 優秀賞	学外実習Ⅰ 学外実習Ⅱ	学外実習Ⅰ（1年次）では主に生産現場でモノづくりの実作業を、学外実習Ⅱ（3年次）は企業の研究・開発現場や生産管理現場で技術的課題の解決に取り組むプログラムを実施。 ・対象：工学部1、3年生 必修科目 ・参加学生：学部1年生103名、学部3年生111名 ・事前・事後学習を除いた企業等での就業体験日数：学外実習Ⅰ 4週間、学外実習Ⅱ 5週間
日本大学 優秀賞	生産実習	3年次学部共通の「必修・通年科目」とし、1年間を通じた幅広い知識と能力を関連付け、目指すべき技術者像を養う。約1,000機関の実習先を準備し産学連携によりオンラインプラットフォームを整備。 ・対象：生産工学部3年生 必修科目 ・参加学生：1,623名 ・事前・事後学習を除いた企業等での就業体験日数：2週間以上（実働10日間以上）
広島大学 優秀賞	長期フィールドワークⅠ 長期フィールドワークⅡ	卒業論文に代わる必修科目として位置づけ、教育課程に組み込んで実施。地域の主要企業やグローバル企業に長期派遣し、給与を受けながら研究開発や業務に従事。 ・対象：情報科学部3、4年生 必修科目 ・参加学生：18名 ・事前・事後学習を除いた企業等での就業体験日数：4か月×2回
筑波大学 選考委員会特別賞	TIASインターンシップA TIASインターンシップB	国内外のスポーツ組織や行政機関、国際的に活動するスポーツ関連企業等における4週間以上のインターンシップの中で体系的かつ包括的に実務を経験。学修成果は修士論文のテーマにも連動。 ・対象：人間総合科学学術院 人間総合科学研究群 スポーツ・オリンピック学学位プログラム 博士前期課程1、2年 必修科目 ・参加学生：7名 ・事前・事後学習を除いた企業等での就業体験日数：4週間以上